

令和6年度子ども議会（小学生の部・後半10校） 質問と回答の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
1	上柴西小学校	深谷市の学童の充実について	・学童に通う児童の数は年々増えています。このため、1つのテーブルに3人で座っていたり、通るところが狭かったりと学童の中はぎゅうぎゅうで、1人のスペースが少ないという課題があります。 ・そこで、学童の敷地や数を増やせないでしょうか。	・現在、市内19小学校すべてに公立学童があり、そのほか民間学童もあります。 ・年々、学童利用者が増え、一部の学童では手狭になっている状況もあります。 ・公立学童では、小学校の余裕教室を借用し、児童1人あたり1.65㎡(条例で基準を設けている)を確保するよう努めています。 ・学童の敷地や数を増やすことは難しいため、余裕教室を活用し、引き続き、子どもたちが学童で快適に過ごせるよう取り組んでいきます。	保育課	こども未来部		
2	八基小学校	文化的施設の活用及び地域活性化について	・今年は、渋沢栄一翁の肖像が印刷された新一万円札発行の年です。そこで、遠くからいらっしゃった皆さんが、地元野菜やお土産を買ったり休憩したりできるような場所があるといいと思いました。 ・誰もが利用しやすいようなカフェなどをつくる計画や栄一翁に関する施設巡りをしやすくするなど、八基地区や深谷市全体を元気にするような計画はありますか。	・7月3日には、八基小学校をはじめ、市内小中学校でもくす玉を開いてお祝いをしていただきました。また、8月31日には伊勢崎市、本庄市と共に花火大会を開催し、深谷市独自のイベントとして、八基小学校でも花火を打ち上げたいと考えています。 ・渋沢栄一記念館など渋沢栄一関連施設を訪れる方が増えてきており、とても嬉しいことだと考えています。また、ホフマン輪窯が6月30日から一部公開されましたが、令和9年には工事が完了する予定です。今後も尾高惇忠生家を含め、渋沢関連施設の整備について進めていきます。 ・深谷を訪れていただいた方には、道の駅やアウトレットに立ち寄ってもらい、深谷市全体を回ってほしいと考えています。 ・市として新たに施設を設置することは考えていませんが、市民の皆さんや企業・団体とも協力し、深谷市全体で取り組んでいけたらと考えています。	渋沢栄一政策推進課	渋沢栄一政策推進部		
3	上柴東小学校	深谷レンガを身近に感じられる取組について	・深谷レンガは渋沢栄一の偉大な功績の一つですが、今、身近に触れたり、見たりすることができないので、市内小学校で花壇に深谷レンガを使う取組をしたらよいと思いました。 ・私はジュニアボランティアガイドで渋沢栄一翁に関するものに触れ、さらに渋沢栄一翁に興味をもつことができたので、市内小中学校にレンガを取り入れることで、小中学生などが深谷市の歴史に興味をもつきっかけになると思います。	・かつて深谷市には、渋沢栄一翁が中心になって設立した日本レンガ製造株式会社の大工場があり、そこで作られたレンガは、日本各地のレンガ建造物に使われています。 ・日本レンガ製造株式会社は現在はありません、市内でレンガ生産されておらず、残されたレンガも多くないため、深谷レンガを各学校の花壇に使うことは残念ながら難しいです。 ・しかしながら、保管されているレンガを歴史資料として提供したり、出前授業でレンガを扱うなど、レンガを身近に感じ、深谷市の歴史に興味を持つきっかけとなる取組を検討していきます。 ・また、レンガ製造の歴史を示す文化財のホフマン輪窯六号窯は、保存修理工事中ですが、将来的には全面的に公開ができるようになります。 ・議員が「栄一翁や深谷について、もっと知りたい！広めたい！」と思われたように、市内の多くの児童生徒にそのような志をもってもらえるように、ジュニアボランティアガイドの取組の充実を図ってまいります。	学校教育課 文化振興課	教育部		
4	岡部小学校	SDGsについて	・最近、社会科の勉強やテレビでSDGsという言葉をよく耳にします。しかし、言葉は知っていてもどのようなことをしたらよいのかあまり浸透していないように感じます。 ・私は、環境を守るために節電や食べ残しをしないことを心がけており、家庭科の学習では、緑のカーテンについて学習しました。 ・学校でも緑のカーテンの取組を実施していくと環境を守ることにつながると思うので、学校に緑のカーテンの苗を配布してもらえませんか。	・SDGs17の目標のうち、13番目に「気候変動に具体的な対策を」とあります。この気候変動のひとつが地球温暖化で、その原因は温室効果ガスですが、削減してもすぐに地球温暖化が止まるわけではないので、併せて人間の暮らしも対応していくという考え方も必要です。 ・この対応に効果があるとされているのが緑のカーテンです。緑のカーテンにより室温の上昇を抑え、エアコン等による電気等のエネルギー消費を減らし、発生する温室効果ガスも減らすことができます。 ・市では、緑のカーテンの普及のために、毎年、市民へ緑のカーテンの元となるゴーヤの苗を無料で配付しており、今年度からは希望する小学校や中学校への配付も始めました。 ・今後も多くの皆さんに緑のカーテンに取り組んでもらえるよう努めていくので、議員もできるところから取り組んでいただきたいと思います。	環境課	環境水道部		
5	榛沢小学校	深谷市のスポーツの振興について	・ぼくはスポーツを通じて、お互いの健闘をたたえ合うリスペクトの精神を学ぶとともに、多くの友人を得ることができました。スポーツの素晴らしさを多くの人に知ってほしいと思います。 ・渋沢栄一翁の新一万円札により、深谷市は日本全国から注目を集めています。 ・深谷市には、全国から参加者が集まる「ふかやシティハーフマラソン」がありますが、様々なスポーツの大会に栄一翁の名前をつけて開催することにより、さらなる盛り上がりや市の宣伝につながると思います。 ・「渋沢栄一翁 立志と忠恕のバレーボール大会」や「渋沢栄一翁 新一万円札肖像記念ラグビー大会」など、深谷市のスポーツ振興に役立つ大会を行うのはどうでしょうか。	・市では、多くの皆さんにスポーツに親しみ、楽しんでいただけるよう様々なスポーツイベントの開催や、施設の整備を行っています。 ・栄一翁の冠事業については、様々なスポーツイベントを記念大会として開催し、市の魅力やスポーツのPRを行っています。 ・今後も栄一翁を積極的にPRするとともに、多くの皆さんが参加できるようなスポーツイベントを開催していきます。 ・議員におかれても、積極的に市のイベントにご参加いただくとともに、家族や友人にも呼びかけていただき、スポーツを盛り上げていただきたいと思います。	生涯学習スポーツ振興課	教育部		

令和6年度子ども議会（小学生の部・後半10校） 質問と回答の要旨

議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	答弁要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再答弁要旨
6	本郷小学校	地域の環境保全について	・私たちの住む地域は、自然が豊かでとても住み心地がよく、このようなすばらしい環境をいつまでも残していきたいと思っています。 ・しかし、地域の中にはタバコやペットボトルなどのごみが目立つところがあります。地域では、「ごみゼロ運動」を行っており、私も参加しているのですが、次の日にはごみが落ちていて、減っているように思えません。このため、ごみゼロ運動の回数を増やすのはどうでしょうか。 ・また、市では他に環境保全についてどのような対策をしているのでしょうか。私たちができる対策などがあれば教えてください。	・毎年5月と11月の年2回、「ごみゼロ運動」を市と自治会の協働で行っています。市では、「ごみゼロ運動の回数を増やす」のではなく、ゴミを捨てる人の意識を変えてもらえるような取組を行っています。 ・まず、空き地などで草が伸び放題となり、ゴミを捨てられそうな土地がある場合は、土地を所有する方に土地を適正に管理していただくようお願いしています。 ・また、ゴミが多く捨てられる場所には、「ごみのポイ捨て禁止」や「不法投棄禁止」と書かれた看板を設置し、ごみを捨てないように市民の意識向上に取り組んでいます。 ・さらに、市内の小・中学生に環境問題への関心を高めてもらうために深谷市環境ポスターコンテストも行っています。 ・誰でもできる対策としては、外出した先でゴミ箱がなかったときは、ゴミは必ず持ち帰って、ご家庭で分別して正しく捨てることを心がけることです。こうした一つの行動がポイ捨てを防止することにつながっていきます。	環境衛生課	環境水道部		
7	岡部西小学校	深谷市の防犯体制・子どもの犯罪被害について	・最近、市内でも不審な人から声をかけられたりすることが多くなってきているように感じます。子どもの犯罪被害が増えるなか、防犯への意識は人々に浸透しているのでしょうか。 ・小学校に入学する子どもたちも年々減る傾向にあり、集団下校をしても日によっては、低学年数人だけの班で下校している姿も見受けられます。 ・市で行っている防犯の呼びかけや防犯体制などについて、具体的にどのようにしているのか、また今後どうしていくのか教えてください。	・市では、地域の方々と協力しながら、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。 ・主な活動としては、地域の皆さんによる青パトでのパトロールや、警察署と協力して、市内で発生した犯罪や不審者の情報を、防災行政無線で広く市民の皆さんにお知らせして、注意を促しています。 ・防災行政無線の放送では、定期的に市内小学校の児童の皆さんの声で放送することで、保護者や地域の方も温かな気持ちで、登下校を見守ってくれています。 ・もしも、危険な目に合いそうになったら逃げ込めるように、市内のお店や会社などに「ふかや防犯協力店」として登録をしていただき、防犯活動に協力していただいています。 ・今後も、多くの人の目により小、中学生の皆さんをはじめ、市民の皆さんが安心して暮らせるよう防犯活動に取り組んでいきます。	自治振興課	協働推進部	・「ふかや防犯協力店」の登録が少ない地域に対して、登録を促すような取組は行っていますか。	・「ふかや防犯協力店」については、令和6年4月1日現在で、約300のお店や会社にご協力をいただいています。 ・市内全域にまんべんなく登録をいただければありがたいですが、登録が少ない地域もあるかと思います。そういった場所については、引き続き協力を促していきます。
8	川本北小学校	スポーツが楽しめる総合施設の整備について	・ぼくはラグビーを習っており、ビッグタートルの芝生のグラウンドを利用していますが、他にスポーツができる芝生のグラウンドがあまりなく、ビッグタートルが使えないときは不便に思います。 ・芝のグラウンドが他にもあれば、市民が集まる場所になると思います。 ・市では、どの人も気軽にスポーツを楽しめるような総合施設の整備について、どのように考えていますか。	・市内の芝生のグラウンドは、仙元山公園陸上競技場と多目的広場、東公園多目的広場、北部運動公園多目的広場の4か所があります。 ・芝生は年間を通じて管理が必要で、きれいに維持管理していくには難しい面があります。 ・芝生をきれいに保つためには養生期間が必要で、この間はグラウンドを利用することができなくなるなどの課題があります。 ・現在、芝生のグラウンドがあるような総合施設を新たに整備する計画はありませんが、今後も既存の体育施設を誰もが気軽に安全に利用できるよう維持管理に努めていきます。	生涯学習スポーツ振興課	教育部		
9	川本南小学校	わがふるさと川本の土地の有効活用について	・川本地区では、農地の所有者の高齢化等による担い手不足で、有効活用されていない農地が増えています。 ・農地を有効活用するため、生産者育成のための学校設立や、研究機関などを誘致する仕組みを話し合ってもらうことはできますか。	・市では、将来の農地の利用について、地域ごとに計画を作っています。この計画は、地区ごとに将来どのような農業をしていくのか、それぞれの農地を誰が使うのかを農家の皆さんや市、埼玉県、農協などで話し合って決めるもので、来年3月までに作成することになっています。 ・計画ができた後も、話し合いなどを続け、農地の有効活用ができる計画に直していきます。 ・市内には「担い手育成塾」があり、作物を育て直売所などに売るところまで学ぶことができます。しかし、この塾は花園地区にしかないため、今後は他の地区でも農業を学ぶことができる仕組みを考えていきます。 ・新品種開発などは県の農業技術研究センターがその役割を担っています。市では、先端の技術を利用したスマート農業などを研究している会社を誘致したり、農業生産者とのつながりをつくることで、農業の働き手不足などを解決できるように取り組んでいます。	農業振興課	産業振興部		
10	花園小学校	深谷市の知名度を上げる取組について	・洪沢栄一翁の1万円札が発行され、全国に知られてとても嬉しいです。 ・深谷市には他にもたくさんの魅力がありますが、深谷市の魅力を全国の人々にはどれくらい知っているのか疑問をもちました。 ・深谷市でねぎやブロッコリーなどたくさんの野菜を生産していることを全国の人に知ってもらうための取組をしてはどうでしょうか。 ・例えば全国の名産を集めたイベントを深谷で開催したり、有名企業とコラボ商品を開発したりすれば、たくさんの人に深谷市を知ってもらえると思います。 ・市では、深谷の知名度を上げるためにどんな取組をしていますか。	・栄一翁が1万円札の肖像になり、市民の皆さんも喜んでいます。また、これまで以上に市の知名度が上がったのではないかと期待しています。 ・令和5年度の地域ブランド調査では、深谷市は、「魅力度」が全国491位、「知名度」が全国302位、「地名の付いた農林水産品」では全国4位となっています。 ・深谷のPRとして、市長自ら大田市場に出向き、深谷産の野菜や花のPRを行っています。また、去年は「全国ねぎサミット」を深谷市で開催しました。 ・知名度を上げる取組として、新聞やテレビに取り上げられるように市長記者会見でイベント情報などを発表しています。先月の新札イベントでは多くのテレビ局が取材に訪れ、深谷市が取り上げられました。市の情報を発信することで、たくさんの方がその情報を知ることになり、知名度が上がるものと考えています。	協働推進課	協働推進部		